



浅川町では2050年カーボンニュートラルの実現に向けて下記の取組を行っています

- ☑ 庁舎内の照明スイッチの近辺に、消灯を促進する掲示を行っています。
- ☑ 役場や学校、公共施設等でのごみの分別を徹底しています。
- ☑ 環境負荷の少ない電動車等(EV、FCV、PHEV、HV)を導入しています。  
(公用車更新時に代替可能な車両がない場合を除く)
- ☑ 浅川町グリーン購入基本方針に基づいた物品等を率先して購入しています。
- ☑ 毎週金曜日をノー残業デー、毎月21日をリフレッシュデーと定め、庁舎内外の節電に努めています。



スイッチの近辺に  
消灯を促進する掲示

Point



照明スイッチの近  
辺に消灯を促進す  
る表示をすること  
で、節電意識が高  
まります!!

リフレッシュデー＆ノー残業デー  
を促進する掲示

Point



電灯・OA  
機器・エアコンな  
どの光熱費の削  
減に努めていま  
す!!

環境負荷の少ない  
電動車等の導入

Point

燃料費が抑えられ、  
地球環境に配慮します!!



役場や学校、公共施設等での  
ごみの分別の徹底

Point



紙類(段ボール・書籍・新聞紙・  
その他紙)は、可燃処理せず資  
源化を徹底しています。また、  
その他資源物(アルミ缶・ス  
チール缶・ペットボトル・ビン  
等)は回収区分に応じた分別  
を行っています。

その結果

昨年度、役場の行政事務をはじめ学校や公共施設から大量  
に排出される紙類をはじめとする資源物の分別を重点項目  
として取組、10トン以上の可燃ごみの減量に成功しました!!

【職員へごみの分別結果を周知するチラシ】



昨年度(令和5年度)から実施しました庁舎内及び出先機関の  
ごみの分別についての結果をお知らせします。

R4年度(分別をしなかった)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
重量(kg)	4,330	3,280	7,320	4,180	2,260	5,790	3,490	3,930	2,990	2,270	2,450	5,050	47,340
処分料(円)	35,506	26,896	60,188	34,358	18,614	47,478	28,618	32,226	24,600	18,614	20,090	41,410	388,598

R5年度(分別をした)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
重量(kg)	3,510	2,660	4,720	1,420	2,750	2,410	2,790	2,510	2,150	2,100	2,950	3,290	32,290
処分料(円)	28,782	21,812	38,704	19,024	11,644	22,550	19,762	22,878	20,582	17,630	17,302	24,190	264,860

減量(差)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
重量(kg)	820	620	2,600	1,860	840	3,040	1,080	1,140	480	120	350	2,100	15,050
処分料(円)	6,724	5,084	21,484	15,334	6,970	24,928	8,856	9,348	4,018	984	2,788	17,220	123,738

結果報告

①段ボール ②新聞紙 ③シュレッダー ④オフィスペーパー・雑誌等(その他の紙類)  
は、これまで施設組合に搬入し、全て有料で焼却されていま  
したが、昨年度から分別により資源化をしています。  
前年度(令和4年度)と令和5年度の可燃ごみの量を比較した  
ところ、重量として15,050kg(15t)、処分料では  
123,738円の削減になりました。  
職員の皆様のご協力のおかげで、役場から排出されるごみの  
大幅な減量(=CO<sub>2</sub>排出削減)となりました。感謝申し上げます。  
引き続き、分別にご協力をお願いいたします。

CO<sub>2</sub> 排出量15トン分  
25m<sup>2</sup>の植樹に  
約6個分に相当します!



処分料金は  
12万円も  
減りました!



ごみの量を減らすことにより、①ごみを燃やすエネルギー ②ごみを運ぶ車の燃料 ③ごみを燃やす際のCO<sub>2</sub> ④ごみの処理にかかる費用 ⑤使うごみ袋 の全ての削減に繋がります。

引き続き浅川町では、安心して住み続けられる町を引き継げるよう、節電等による「省エネの推進」、リサイクルの徹底による「ごみの削減」など、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするための取組を率先し実行していきます。

